

車いす介助など体験

小学生ふくし講座



友だちが乗った車いすを押す児童たち

夏休み中の小学生たちに福祉の体験をしてもらうと、社会福祉協議会主催の小学生ふくし講座が7月27・28日に市民ふれあいセンターで開かれました。参加した小学生たちは、交代で車いす介助などを体験。参加した児童からは「車いすを使っている人は大変だなと思った」などの声が聞かれました。

左から江波戸消防組合長、佐藤さん、篠田さん、並木消防長



勇気ある行動を表彰

人命救助に感謝状

自らの危険を顧みず人命救助を行ったとして、篠田賢児さん（椿）と佐藤正文さん（椿）に9月7日、匝瑳市横芝光町消防組合から感謝状が贈呈されました。

2人は8月19日、22時30分ごろに市内椿で起きた交通事故現場にいち早く駆けつけ、燃え盛る車内で身動きが取れなくなっていた運転手を救出。当日の様子を、「車が燃えていたので怖かったが、人の命がかかっているので勇気を出して行動しました」と語られました。

県を代表する観光スポットへ

飯高檀林跡に視察続々

本市を代表する観光スポットである飯高檀林跡へ、9月4日には千葉県議会観光立県推進議員連盟の議員27人、10日には日本旅行記者クラブなどの在京マスメディア関係者17人がそれぞれ視察に訪れました。参加者たちは檀林の歴史などについて説明を受けた後、「秋が深まると紅葉がきれいだろうね」などと話しながら、国指定重要文化財である講堂や、杉の巨木群などを写真に収めていました。



鐘隠（国指定重要文化財）の説明を受ける観光立県推進議員たち

集会所が緑豊かに

宝くじ助成金で植樹活動

共興地区長谷の横川集会所に、宝くじの助成金でヤタイヤシなど247本が住民参加で植樹されました。樹木が無いと海からの強風や塩害にさらされていた同集会所が、カイズカイブキやマキの生け垣で囲われました。また、広場にもカキやウメ、ユズ、サツキなど季節感のある樹木が植えられ、緑豊かな景観に生まれ変わりました。



樹木を植えていく参加者の皆さん

炊きたての新米を試食する来場者たち



おいしい地元産品をPR
ふれあいパーク新米まつり

安心・安全でおいしい地元産のお米をPRするため、9月12～13日、ふれあいパーク八日市場で新米まつりが行われました。この日、用意されたのは収穫されたばかりの地元産コシヒカリ40kg。炊きたての新米が来場者に振る舞われました。試食した人たちは「ほんのり甘くておいしい」などと感想を話しながら、その場で新米を買い求めていました。



見事に優勝を決めた野栄スポーツ少年団

野栄スポーツ少年団が関東大会で優勝

第2回ガスワンカップ

さいたま市で8月29日～30日、第2回ガスワンカップ学童軟式野球選手権大会が開催され、千葉県代表として参加した野栄スポーツ少年団（市内他チームからの推薦選手を含む）が、見事優勝を果たしました。

大会は、関東近郊の1都11県の代表16チームが参加してのトーナメント戦。野栄スポーツ少年団は、他都県代表を次々と破り、太田ベアーズ（茨城県）との決勝戦も5対3で快勝。2日間にわたる熱戦の末、関東一の栄光を手に入れました。

校庭で友達と「おやすみなさい」

飯高小で宿泊体験教室

飯高小学校で8月22日から23日、夏休み宿泊体験教室が開かれ、全校児童33人が参加しました。午前中に学校に集まった児童たちは、流しそうめんや自然観察、花火などを楽しんだあと、夜は校庭に張ったテントに宿泊。普段は体験できない貴重な時間を過ごしました。



飯高地区でこれた周囲47cmの巨大な竹で流しそうめん



庭を彩る竹垣づくりも受講できます

全国一の樹芸技術を学ぶ

自分でできる庭木の手入れ塾

八日市場植木組合では、4月から9月にかけて全10回にわたり「自分でできる庭木の手入れ塾」を開催しました。これは、全国的に有名な本市の植木樹芸技術を通して、一般の人たちが庭木の手入れ方法を学べる場として、毎回好評を博しているものです。

今年も第12回手入れ塾が10月から来年3月まで予定されています。自宅の庭木の手入れをやりたい人は同組合☎72-1767まで。

35年目を迎えた伝統行事

八日市場の盆踊り定例発表会

八日市場公民館南側駐車場で8月22日、八日市場の盆踊り定例発表会が行われました。これは県無形民俗文化財に指定されてから今年で35年目を迎えた夏の伝統行事で、当日は、砂原・米倉の囃子連が奏でる笛と太鼓の音色に合わせて踊り手たちが優雅に踊りました。



お囃子を囲んで踊りを披露する参加者たち

30年前の自分を思い出して笑顔がこぼれます



6月号でお知らせした、野田小卒業生によるタイムカプセルの開封が8月15日、同窓会を兼ねて行われました。

30年前に埋めたタイムカプセルから出てきたのは、当時6年生だった自分が書いた「将来の夢」。それぞれの作文は、恩師である宇野那津子先生と椎名美津代先生から、集まった2クラス45人に配られました。

作文の内容は、「将来は郵政省に入りたい」「国を守るため防衛大学に行きたい」などしっかりした内容のものが多く、作文の通り自分の夢を実現した人もいました。

野田小卒業生がタイムカプセル開封

今振り返る「自分の夢」